

公益社団法人 東大和市 シルバー人材センター広報誌

け や き

〒 207-0015 東大和市中央3-912-3

電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>



公益社団法人 東大和市シルバー人材センター 令和 6 年度 定時総会



◆ センターの今後の予定 就業相談日 日程表 デジタル化の取組について	◆ おしゃべり広場	◆ 健康促進事業 「ウォーキング」報告、感想	◆ 「うまかんべえく祭」報告	◆ 各委員会報告	◆ 会員表彰 ホームページのリニューアル フリーランス法施行について	◆ 令和 6 年度定時総会開催 新理事の紹介 役員表彰	目次
8	7	6	5	4	3	2	

正会員数 (7月1日現在)	
男性	422名
女性	170名
合計	592名

令和 6 年度 定時総会開催

令和 6 年 6 月 25 日 (火) 午後 1 時よりハミングホールにおいて、令和 6 年度定時総会が開催されました。

会員数 596 名の内、出席者総数 480 名、内訳は、会場出席者 67 名、委任状提出者 390 名、議決権行使書提出者 23 名でした。

当日は、名誉会長・東大和市長 和地仁美様、東大和市議会議長 東口正美様、東大和市議会厚生文教委員会委員長 荒幡伸一様、東大和市シニアクラブ連合会会長 関 清一様のご臨席を賜りました。

はじめに、峯 信夫会長から挨拶を申し上げ、続いて、名誉会長 (市長)、東大和市議会議長のご挨拶をいただき、市議会厚生文教委員会委員長、及びシニアクラブ連合会会長のご紹介をいたしました。

総会は、会長が仮議長に就任したのち、定足数を確認し、議長に峯会長を選任したうえで、議事進行に入りました。

総会は、下記の案件について議事が進められ、2 件の議事案件について、原案どおり、承認可決されました。



東大和市議会議長 東口正美 様



シルバー人材センター
名誉会長
東大和市長 和地仁美 様



シルバー人材センター
会長 峯 信夫

議 事

一、報告事項

- ① 第 1 号報告
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの事業報告の件

二、決議事項

- ① 第 1 号議案
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの計算書類等の承認の件
- ② 第 2 号議案
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
理事 1 名の選任の件

新理事の紹介

令和 6 年度定時総会において、理事を辞任された村林 應氏の後任として、大石英代氏が選任されました。第 8 地区を担当いたします。



新任の大石理事

会員の表彰

定時総会終了後、令和 6 年度表彰式が行われ、次の方が表彰されましたので、ご紹介いたします。

《役員表彰》

センターの役員を継続して 3 期以上在任したもののうち、退任された 3 名の方 (敬称略・入会順)
遠藤 孝
立石 孝義
中原 拓三



役員表彰の方々





10年間で70%以上就業された方々



5年間継続して就業された80歳以上の方々

《会員表彰》
平成26年4月から令和6年3月の10年間に70%以上就業された15名の方(敬称略・入会順)

- 西横古岩窪関竹栗
井家洲田田村原
貞昇晴幸進邦美勝
臣男雄雄雄佐男
- 石齊三世今長栗
川藤宅良野瀬野
文利一芳正文久正
由一夫枝文子清



《会員表彰》
令和6年3月現在、それ以前に5年間継続して就業された年齢80歳以上の22名の方(敬称略・入会順)

- 島安荻南西高西鈴宮藤笠
東野川脇菽萩木本沢原
渡マ政美孝一勝陽猷周美
サ子智子英子子禧和
エ子子子子子子子子
- 加七大大佐若甲佐小丸田嶋
治澤津藤藤林田藤川岡中崎
屋庸正雪亮正浩信康久順
正幸治雄治治彦二子

公益社団法人 東大和市シルバー人材センター Tel.042-565-0531

皆様のお仕事を豊富な経験と知識を持つシルバー会員がお手伝いします。

センターからのお知らせ

- 2024.3.6: 就職先企業様へお礼状を送りました。
- 2024.2.9: 就業開始しました。
- 2023.12.28: 令和5年度事業報告書の掲載のお知らせ
- 2023.12.22: 就業先企業様へお礼状を送りました。
- 2023.12.22: 就業先企業様へお礼状を送りました。
- 2023.12.18: 就業先企業様へお礼状を送りました。
- 2023.12.4: 就業先企業様へお礼状を送りました。
- 2023.9.6: 就業先企業様へお礼状を送りました。
- 2023.7.27: 「お礼状」を就業先企業様へお送りしました。

お仕事の見注をお考えの方へ	入会をお考えの方へ	会員の方へ	センター情報
家庭のお仕事	入会のご案内	広報誌「けやき」	センター概要・アクセス
会社のお仕事	入会説明会日程	就業相談	行事予定・講習会等
公共のお仕事	出発入会説明会	適正就業・安全就業	情報公開
シルバー派遣事業とは	インターネット入会申込	シルバーヘルプステーション就業会招集券	リンク先
お仕事の見注方法/料金の目安			

公益社団法人 東大和市シルバー人材センター (シルバーヘルプステーション)
〒207-0015 東京都東大和市中央3-912-3
TEL:042-565-0531 FAX:042-566-2308

QRコード

令和6年4月より、東大和市シルバー人材センターのホームページをリニューアル【刷新】いたしました。

刷新その1…ホームページ(トップページ)の大幅変更
前回の緑色基調から黄色基調に、また、写真も多摩湖から東大和南公園桜並木に変更いたしました。とても見やすい画面になっています。

刷新その2…画面構成の変更
4つのカテゴリー(目的別)に整理したこと、知りたい情報を即検索できて、使いやすくなっています。是非、QRコード等からホームページへのアクセスをお試しくください。

「フリーランス法施行」について

令和6年度事業計画にて、皆様にもすでにお示ししています「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」、いわゆる「フリーランス法」の施行が、令和6年11月1日に決定しました。この法律は、フリーランスの方が安心して働ける環境を整備することを目的としています。会員の皆様は、負・委任の契約で就業する場合は、「個人事業主」としてシルバー人材センターから業務を受託して就業していることから、フリーランスに該当します。

今回の法律では、就業会員は「特定受託事業者(フリーランス)」、シルバー人材センターは「特定業務委託事業者(発注事業者)」となり、シルバー人材センターの役割等が定められました。具体的には、①書面等による取引条件の明示、②報酬支払期日の設定、③中途解約等の事前予告などですが、詳しい内容は、厚生労働省・公正取引委員会・中小企業庁のホームページでご確認ください。

事務局としましては、11月から新たに取引交わす皆様との契約から、この法に則した対応に取り組みますが、特に①の就業条件明示が最優先されますことから、現在、就業開始時に皆様と取り交わす「就業確認書」の内容やその取り扱いの一部変更から着手します。また、令和7年4月からは、原則として書面(紙)を無くし、デジタルを活用した方法に移行する予定です(こちらの内容は、8ページ記載の「デジタル化の取組について」をご覧ください)。

この他、フリーランス法の趣旨を踏まえ、就業会員・発注者・シルバー人材センター間の契約方法について、国より新たに見直すことが示されており、適宜お知らせいたします。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

総務委員会

委員長 西永 宣昭

事業委員会

委員長 田中 雅城

広報委員会

委員長 福田 一彦

安全管理委員会

委員長 窪田 進

総務委員会の事業実施状況は、
 ① 総務・財務・組織に関すること。
 ② 会員の福利厚生に関すること。
 ③ 他の委員会に属さないこと。この3つの任務を実施するため、会員拡大と会員の親睦につなぐ諸行事を実施しております。

① 健康等に関する講演会は、日常生活の関心事「認知症の理解と対応」をテーマとして、9月12日(木)に開催します。

② 会員作品展は、「シルバー人材センター紹介コーナー&会員作品展」に名称変更し、市役所ロビーにて、12月16日(月)〜20日(金)の間、シルバー紹介動画を放映するとともに、会員の力作を展示して、会員の拡大増強につなげてまいります。

③ 健康増進事業「ウォーキング」は、「学んで健やか東大和の魅力」をテーマにして、自然、歴史を取り入れた内容とコース設定を検討しています。

④ 新規事業では、前年度組織化した「(仮)女性活躍事業準備会」が、女性限定入会説明会や女性向け講座等、女性会員主体の事業を実施し、女性活躍社会に対応した活動を検討しています。



今年度は、次の項目について重点的に活動中です。

① 昨年度取り組んだ「新入会員研修用スライド」の全面見直し完了し、4月からは新バージョンのスライドにて研修を開始しました。会員の就業状況を撮影した動画を多用し、仕事内容をより分かり易く紹介しています。また、スライド内容は、適宜見直しを行っていく予定です。

② センター業務の「デジタル化推進」に向けての第一歩として、全会員を対象に「デジタル機器利用に関する調査」を実施しました。回収した調査票の分析結果を基に、会員へのスマホ講習会などを計画しています。

③ 接遇研修会は、今年度も外部の専門講師を招き、第一回目を5月に開催しました。今回から接遇についての講習に加えて、各種ハラスメントに関する内容も交えた講習内容で実施しています。

④ 就業相談、就業開拓(企業表敬訪問)などは、例年どおり行っています。

*以上、会員及び役員の皆様のご協力をよろしく願います。



今年度の活動状況を紹介します。

① 広報誌「けやき第149号」を7月25日(木)に定例理事会を通じて発行しました。

なお、6月25日(火)開催の総会記事を掲載することから一か月延期しての発行となりました。今回の掲載記事は：

(a) 3月27日(水)開催「ウォーキング」の報告。

(b) 4月20日(土)・21日(日)参加「うまかんべえ祭」の報告。

(c) 6月25日(火)開催「令和6年度定時総会」の報告。

(d) 当センター「ホームページ」のリニューアル。など、数多くの内容となっております。

② 社会福祉協議会主催「福祉祭」に、今年度も参加予定としており、その準備に取り組みます。

【日程】11月10日(日)
 【会場】中央公民館及び市役所中庭等

※詳細につきましては、次回、お知らせします。

③ ボランティア活動(道路美化清掃)につきましては、10月の実施で計画しています。

会員の皆様のご協力、よろしく願います。

令和6年度の活動実績を紹介。

【健康診断受診調査】今回は無記名で調査したことで回収率が前年度比で68%に下がりました。受診率は91%と良好な数値でした。就業する会員は健康診断を受診するよう安全就業基準で定めています。ご自身の健康維持のためにも年1回の健康診断受診をお願いいたします。

【安全パトロール実施】6月6日に安全管理委員による安全パトロールを実施しました。対象は植木班で奈良橋市民センターの植え込み剪定作業でした。特に問題はありませんでした。詳細は、安全だよりで、ご確認ください。

【熱中症予防講習会】6月23日、26名の参加を得て、開講しました。夏真っ盛り、無理をせず、こまめな水分補給を行ってください。

【安全グッズ配布】今年度は、「ひんやりクールタオル」としました。暑さ対策にご活用ください。

【自転車安全利用講習会】昨年度発生した傷害事故6件のうち、4件が自転車絡んだ事故でした。今年もすでに1件発生しています。これを踏まえ、7月23日、27名の参加のもと、5年振りに開催しました。日常的な自分事として質問も多く、充実した講習でした。

今年の夏も猛烈な暑さとなります。熱中症ゼロで乗り越えましょう！

『うまかんべえ祭』参加報告

広報委員会 福田 一彦

令和6年4月20日(土)～21日(日)の2日間、都立東大和南公園にて、第10回「うまかんべえ祭」が開催され、当シルバー人材センターも協賛出展いたしました。



「うまかんべえ祭」とは、地域住民の交流と東大和の魅力ある食文化を活かし、地域社会を元気にすることを目的に開催されるお祭りです。「うまかんべえ」とは、おもてなしの意味を含んだ言葉で、自慢料理を勧め、「美味しいからどうぞ召し上がれ」という意味です。

市の特産品から選ばれた課題食材を使ってアイデアを競う「グルメコンテスト」には、過去最多の28店舗が参加しました。

グルメコンテストの結果は、次のとおりでした。

第一位 おやじのゆずれないクレ

ーブ(4小おやじ本舗)

第二位 東大和バーガー (KUJAKU BAKERY)

第三位 コロリのひよコロひよ

こ豆とビーツのコロッケ 狭山茶チーズとトマトソース(コロリトウラー)

1日目は3万1千人、2日目は3万5千人、延べ6万6千人の来場者があり、大盛況で幕を閉じました。好天に恵まれ、各出店(出展)コーナーは行列ができるほど多数の来場者で混雑していました。当シルバー人材センターは地域貢献及び広報活動等に努めました。はじめに、地域貢献としては、「うまかんべえ祭」の目標の一つである地域活性化に向けた「賑わいの創出」に寄与できたことです。次に、広報活動としては、入会説明会への参加手順や仕事の発注方法について、来場者に直接案内ができたことです。

また、出展内容は、「シルバークイズ」と称して、5問のクイズを出題し、正解者には「季節の花の苗(マリーゴールド、ベコニア)」を景品として差し上げました(600個用意)。

同時に、センターPRパンフレットを配布するとともに、ブース内にてシルバー人材センターの紹介動画を放映しました。なお、今年度、事業委員会と協力して取り組んでいる「デジタル化の推進」の参考資料として、60才以上の参加者をターゲットに、スマートフォン(スマホ)等の所有及び活用状況について、アンケートを実施しました。

結果として、スマホ利用者は60才以上で438名中、284名の約65%の方が利用しているという状況を把握することができました。以上、今後も地域に根差した貢献活動に努めたいと思います。

グルメコンテスト 第1位



グルメコンテスト 第2位



グルメコンテスト 第3位



健康促進事業 『ウォーキング』 実施報告

総務委員会委員長 西永 宣昭

去る3月27日(水)、コロナ禍の影響もあり、実に6年ぶりとなる「ウォーキング」を左記の行程で参加者22名のもと、実施しました。当日は前日の大雨で開催が危ぶまれましたが、奇跡的に雨があがり、和地市長からも「皆様の普段の心がけの結果です。」との挨拶をいただきました。

準備体操で身体をほぐしてから「郷土博物館」に向けてスタートを切りました。「プラネタリウム」の観賞で心を癒し、「二ツ池公園」を経由して、「都立東大和公園」に到着しました。

萌芽更新された春のすがすがしい公園の中を抜けて、円乗院から「狭山神社」、「やまと苑」前から多摩湖自転車道を上がって「多摩湖」に到着し、堰堤上の「水の精像」をバックに記念写真を撮り、春のウォーキングは事故もなく、無事解散となりました。

ウォーキングに参加して

立野B班 橋本 安央

感想です!



いつでも満天の星空に出会える「プラネタリウム」の誕生の物語を映像を交えて説明を受けました。

また、北斗七星を軸に繋がる星座群を観て、宇宙空間を満喫しました。今年は桜の開花が昨年より一週間遅く、まだ蕾み状況でしたが、道中の心地よい風景と参加者同志とのお喋りを楽しみながら散策していると心が和みました。「二ツ池公園」では、鎌倉時代の逸話ある池の中「こはん塚」モニュメントを見ながら歩行し、都立で最初の丘陵地公園となった「東大和公園」に向かいました。

アカマツ、コナラなどに覆われた静かな林の中に野鳥の声、道の脇に各種の野草が見られる里山を、将来に亘って大事に保全されること願わざるを得ません。

前日の雨にもかかわらず、丘陵の道はかわいており、道にはみ出ている木の根っこに滑ることなくスムーズに歩行、由緒ある円乗院の脇を通り、次の「狭山公民館・狭山神社」に移動しました。

狭山公民館には、「野球少年」のモニュメントがあります。これを眺めていた私は、メジャーで大活躍中の大谷翔平選手を瞬時に思い浮かべ、少年時代に目を輝かせて野球に打ち込んでいる彼の姿を自然と連想していました。

「狭山神社」においては、石垣に「力石(パワーストーン)」があり、多くの人が「御利益にあずかる」ことを願って石をさすり、ピカピカになっておりました。

やまと苑では、開花するには数年かかるかと思われる桜苗木を見て、害虫に侵されず、暴風雨にも耐えて皆を楽しませる立派な花を咲かす桜木になって欲しいと願いつつ歩きました。

東大和市の自然や文化財に親しみながら散策する「ウォーキング」も最終の「多摩湖堰堤」に全員が元気に到着しました。

多摩湖をバックに「水の精像」モニュメントで、完歩達成感に満ちて皆でガッツポーズをしました。今後も、健康増進と会員同士の交流を図る「ウォーキング」は、東大和を知る企画をもって推進していくとのことでした。

この素晴らしいウォーキングイベント事業に、ご尽力いただきました関係者に感謝いたします。

【行程】
〔9時30分〕シルバー人材センター
― 出発 ↓ プラネタリウム観賞
〔郷土博物館〕 ↓ ニツ池公園 ↓
都立東大和公園(5分間休憩) ↓
狭山公民館・狭山神社 ↓ やまと苑 ↓ 多摩湖堰堤(水の精像) ↓
集合写真 & 解散 〔12時20分〕
※距離: 約6km



和地市長挨拶



出発前の参加者集合写真



狭山神社&力石



多摩湖「水の精像」にて



郷土博物館&プラネタリウム



東大和公園内



おしゃべり 広場

地方『城』の魅力 仲原班 坂庭 邦泰

世の中には有名な城は数あれど、地方には、数奇な運命をたどった城がひっそりと建っています。その一つが奥美濃「郡上八幡城」で、永禄九年（一五六六年）遠藤慶隆の創建によるものです。因みに慶隆の妹は、山内一豊の妻となった千代です。

織田信長側であったが、慶隆は本能寺の変後、豊臣秀吉により加茂に転封され、城には稲葉貞通が入城します。その後、慶隆は、関ヶ原の戦いで東軍に参加したため徳川家康に願い出て、城を取り戻し、慶長八年（一六〇三年）初代藩主になります。

ところが、五代目藩主が亡くなり、次に、井上正任が入城します。元禄十年（一六九七年）金森頼錦（よしかね）が藩主になりますが、一揆の責任を取り移封、宝暦八年（一七五八年）には、青山幸道が藩主になります。



郡上八幡城



天守より市内を見る

会員皆さんの趣味、健康管理、危機管理などを気軽にコラムとして、紹介する広場を設けています。
掲載を希望する方は、シルバー人材センター事務局、または、広報委員会までご連絡ください。多くの方々からの投稿をお待ちしています。

その後、百十一年統治しますが慶応四年（一八六八年）戊辰戦争で幕府側となり、明治二年（一八六九年）、藩籍を新政府に返上します。

その後、昭和八年（一九三三年）に天守が再建され木造再建城としては、日本最古のもとになっていきます。

このように、地方の城は城主が度々変わるのが特徴で、戦乱による勝ち負けとか一族の争い、交通の要所の争奪、あるいは悪政、子孫断絶であったり様々です。それ故歴史の勉強になります。

また、城主により、文化も異なり、当地では、「郡上踊り」・「藍染め」が有名になりました。

私の体力維持法

上北台B班 島田 耐子

社会人になってから意識してスポーツをした覚えがなく、定年近くになって「骨粗鬆症」と診断され、とても慌てました。

「対処法として、太陽の下を歩くこと」と言われ、早速、地元の山の会に入会しました。

目標は、地元から眺められる山々を対象に制覇していくこと。

山頂から西武ドームが見えると登頂の実感が沸き上がりました。

時々、百名山に入ると、ますます夢中になっていき、そして遂に「日本一の富士山」にも登頂することができました。

そして、ここ四、五年のうちに登る山を決めていましたが、コロナ禍の影響で出かけることもままならず、鬱々と日々が過ぎていきました。このままでは歩けなくなるのではないかと危機感を覚え、山仲間と同年の友人と二人で「せめて高尾山に月二回は登りましょう」と決め、以来、四年間登り続けています。

多少の体調不良や膝や腰が痛い時でも、途中でのリタイアありで、毎回登頂しています。歩き始めて三十分位で小休止します。給水し、汗を拭い上着を脱いでそのまま山頂まで登りますが、その頃には膝の痛みも腰の痛みもお互いに忘れていきます。

山頂では、早めの昼食を摂りながらお喋りに花が咲きます。

近頃は、同じテーブルで相席になる若者たちが、流行のコンパクトなキャンプ用品を持参し、目の前で食品を調理しながら昼食を摂るのを羨ましく眺めることが多くなりました。

コロナ禍以前は、私達も山仲間と食材を持ち寄り、大きな鍋で煮炊きして、山頂での昼食を楽しんだものでした。

今や月二回の高尾山への登山が、私の体調を測るバロメーターになっていて、気分転換と体力維持の大事な行事です。



高尾山山頂塔



入山様子



山頂より富士山を望む

